

平成30年度は「若穂まちづくり計画」実行元年

若穂地区住民自治協議会 会長 綿内剛美

新年明けましておめでとうございます。旧年中の住治協へのご支援・ご協力に衷心より感謝申し上げますとともに、本年も宜しくお願い致します。

さて、私たちの若穂地区は、多くの住民の皆さんがお感じになっているように、自然豊かで土地も肥沃、大きな災害に見舞われることも殆どない住みやすい地域ですが、若者を中心とした都市部への流出に伴う人口減少・少子高齢化・遊休荒廃農地の増加、また交通網の未整備による渋滞の日常化、生活店舗の不足など多くの課題があることも事実です。

若穂住自協では平成27年度から、これらの課題を解決し、地域活力の低下を最小限にとどめながら活性化を図っていくために、おおよそ10年先に目指す若穂の姿を設定した体系的な「若穂まちづくり計画」の策定を進め、この3月中にはその概要版を皆さんのお手元にお届けできる運びとなりました。詳しい内容はここでは省きますが、「子どもたちに若穂への愛着を深めてもらうためには・・・」、「若者に若穂に住み続けてもらうためには・・・」、「若穂への来訪者・移住者を増やしていくためには・・・」、「子どもから高齢者まで全ての若穂住民が暮らしやすい地域にしていくためには・・・」など住民の若穂に対する深い思いが込められたものであり、「住んでみたい、住んで良かった、品格のあるまち若穂」づくりを大目標としたものであります。

実現のためには莫大な費用と時間を必要とし、市・県・国からの支援・援助が無ければ到底できない計画もありますが、お金をかけず私たちの「覚悟と行動そして団結」で達成できる計画が主であり、住民全体の共通意識の高まりと粘り強い努力が必要とされます。

今後、住自協「まちづくり部会」を中心とした計画実行機関を発足させ、本年5月より順次執行してまいります。10年先の若穂の姿に夢と希望を抱き、そして10年後に計画実現の達成感がひとり一人の心に満ち溢れることを願いながら、皆で頑張っていけたらと思います。

本年も皆様にとって良き年であることを祈念申し上げます。

若穂地区有害鳥獣対策への取り組み

～ 来年度から若穂全戸での対策費負担にご理解を ～



12月13日(水)長野市若穂支所において臨時区長総会を開催し、若穂地区全域の有害鳥獣対策について協議を行いました。この件については一昨年度から有害鳥獣対策協議会、各地区区長会、理事会等で協議を重ねてきました。現在も、人里に熊、鹿、イノシシ、サル等の出没が認められ、農作物の被害のみでなく安全で安心して生活できる環境が脅かされてきています。出没阻止を図るためにも対策事業に要する費用(一戸当たり500円)を若穂地区全戸で負担していただくことが臨時区長総会で決定しました。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

若穂まちづくり計画の実行推進！ 今年もよろしく願いいたします。

若穂地区住民自治協議会理事会・事務局一同

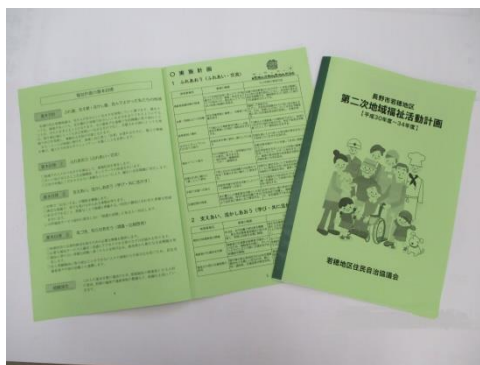


若穂まちづくり計画が策定される！！

平成27年度から各地区未来会議や若穂まちづくり策定委員会でおおよそ10年先にめざす若穂の姿を設定した体系的な計画を策定するために、「地域振興」、「福祉教育文化」、「道路交通」の三つの分野で地域住民の意見をいただきながら検討を重ねてきました。

若穂まちづくり計画案が12月の第9回策定委員会において承認されました。今後、住民の皆様の協力のもと計画を実行する機関を設置しまちづくりを推進していくことになります。3月に若穂まちづくり計画概要版が全戸配布の予定です。「住んでみたい、住んでよかった、品格のあるまち若穂」を築き上げましょう。

若穂地区第二次地域福祉活動計画を策定



平成29年4月に設置された若穂地区第二次地域福祉活動計画策定委員会は第二次活動計画を策定し、第8回理事会へ提案し承認されました。平成30年度から5年間、「ふれ愛、支え愛、活かし愛、住んでよかった私たちの地域」を基本方針とした計画の主なものは福祉まつり、子ども対象のお祭り、おしゃべりサロンの推進、福祉自動車の運行等々多岐にわたっています。詳しくは、今後全戸配布されます活動計画概要版をご覧ください。

農家民泊事業研修会が開催される

若穂農家民泊事業導入準備委員会（代表：渡邊建夫）は、12月11日（月）長野市若穂支所において、長野市農業政策課、長野市農業公社を講師に迎え、農家民泊の実施に向けた研修会を開きました。農家民泊は、都会の小・中学生、高校生が修学旅行や体験旅行で農家に宿泊し、農村や田舎の生活を体験することで豊かな人間性や社会性を育む機会となっています。現在、長野市内7地区（鬼無里、大岡、七二会、信州新町等）で実施し、昨年度は都市部から6,200名の中高生が訪れました。若穂地区においては、平成30年2月に「農家民泊受入れの会」の設立総会を開催し、平成31年度以降の本格実施をめざしています。

交通渋滞解消をめざして

長野市南部交通渋滞対策協議会が設立

11月22日（水）更北公民館において若穂・松代・更北・川中島・篠ノ井地区5住民自治協議会は犀川、千曲川に架設された橋を中心にした交通渋滞解消に向けた調査研究を行い、関係機関に要望活動を行うことを目的に対策協議会を設立しました。会長に綿内剛美（若穂住自協会長）さんが選出されました。若穂の主な対象は落合橋、関崎橋の渋滞解消、五輪大橋無料化等です。あらゆる機会を通じて渋滞解消の要望を住民一丸となって訴えていくことが大切だと思います。（写真上段が関崎橋、下段が落合橋）



問合せ 若穂地区住民自治協議会（若穂支所内） ☎ 050-3583-5700
若穂有線 2062 e-mail wakaho.j@grn.janis.or.jp